



持続可能まち犬山

グループ名：LET'S 犬山

メンバー：家田和徳、伊神裕人、池田あんず、安田天峯

チューター：加藤丈佳、杉山範子、東海林孝幸、雪田和人

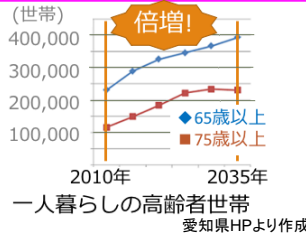
現状の把握

1. 愛知県における高齢化

2. 空家の増加と
地方都市の対策格差
日本全国で空家の増加が問題視、今後も増加。

3. 犬山市の現状

- ・人口74,726人
- ・名古屋駅から名鉄で25分
- ・犬山城、美しい古い町並み
- ・街中には空家が増え、シャッターの閉まった店舗続出



2035年に向けての提言の概要

持続可能まち=絶えず人がいるまち を目指す

- ①便利
- ②楽しい
- ③(人の)多様性

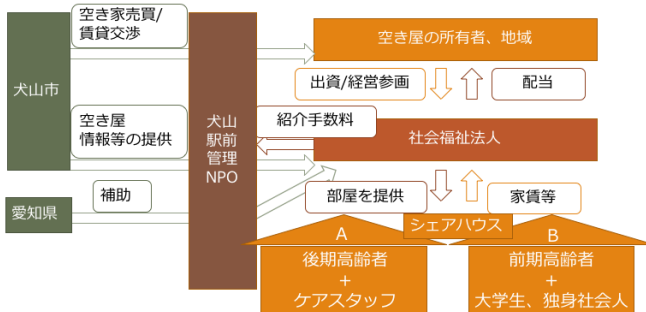
住みやすく

変化に強い

- A. 空屋をシェアハウス化 → 高齢者と若者呼び込み
- B. 寺をシェアスペースにしてイベント → 住人の交流の場
- C. まちをコンパクトシティ化 → 便利で安全なまち

提案の内容

A. 空き屋をシェアハウス化



B. シェアスペースである寺にてイベント 囲碁、音楽、子育て世代交流、ジャズライブなど 寺の機能再生 心の安らぎと住民の交流の場

C. まちをコンパクトシティ化



提案実現のための具体的な取り組み (アクションプラン)と実現可能性

1. NPO等の組織の立ち上げ
犬山市、愛知県が働きかけ、既存NPO等も利用し犬山駅前管理NPOを立ち上げる。すでにまちづくり関連NPOが存在。まち内外の人へのアンケート実施。
2. 空き屋をシェアハウス化
まずは地元の人々が主体となった社会福祉法人や居住者によるシェアハウスを成功させ、その後地域外の社会福祉法人や居住者にも規模拡大。空き屋の利活用はすでに他地域でも成功事例あり。増加する一人暮らし高齢者の受け入れ先は必須。家賃や家事負担軽減により若者へのインセンティブも。
3. シェアスペースである寺にてイベント
犬山市及び上記NPOによる寺への趣旨説明と協力要請→一般へのイベントが行える寺と条件の周知。寺でのイベントは全国でも多数例があり。
4. まちをコンパクトシティ化
アンケートの結果などから新設する施設と、その立地について話し合い。施設は規模が小さく、また既存のものも利用できるため費用負担も少なくて済む。また、犬山では歩行者天国化されている場所もあり住民にその理解を得やすい。

波及効果

- (1) 低炭素化 コンパクトシティ化と郊外独居高齢者が減少
- (2) 金の世代間循環 高齢者がシェアハウス家賃を多め負担
- (3) 出生率UP 子育てイベント、高齢者による見守り → まち全体で子育て
- (4) 高齢者医療費削減
高齢者の生きがい(NPOスタッフやケアスタッフの役割、寺での趣味イベント)、若者と同居など → 元気に!